

9 番 田辺 水哉 議 員

1 共生協働・コミュニティ活動の推進について

- (1) 第3次鹿屋市総合計画において町内会を地域自治の重要な柱として位置づけられている。また鹿屋市共生・協働で進めるまちづくり基本指針において、町内会は地域コミュニティの中核として位置づけられているが、地域によっては自治公民館の老朽化で対応に苦慮している町内会もある。互助や共助の観点からも自治公民館は地域拠点を担う。今後は、市が自治公民館の整備は行わないといけないと思うが、今後の対応はどのようなのか。

2 鹿屋市トンネル長寿命化修繕計画について

- (1) 鹿屋市が管理するトンネルは5本あり、50年を経過するトンネルは2本ある。
2本のトンネルは旧日本国有鉄道が保有していたトンネルであり、廃止後は市民の生活道路として有効活用されている。今後、老朽化対策や修繕を行い、維持していく必要があるが、今後の対応はどのように行うのか。